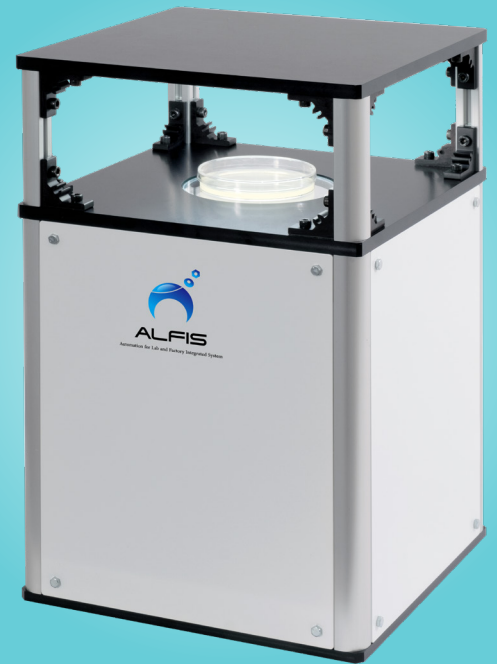


インキュベーター内で
培養中の細胞を外部から
リアルタイム・モニタリング
高画質タイムラプス撮影可能

開発中製品 アルフィス・ラボティクス・ミニ・オー（細胞観察装置）

Labotics mini O



現在開発中（実装予定）の主な機能・特長

1 小型で、インキュベーターや クリーンベンチ内にも設置可能

インキュベーターやクリーンベンチ内に設置できる小型サイズ。
培養細胞に温度・湿度等の環境変化のダメージを与えないよう、
インキュベーターに入れたままでのリアルタイム観察を可能に。

3 高画質タイムラプス撮影対応 細胞の変化を経時的に観察可能

一定の時間間隔での「タイムラプス撮影」を可能に。増殖、分化、
接着、形態変化、移動など、長期的に培養中の細胞の挙動を撮
影画像をつなぎ合わせることで、動画として捉える用途も想定。



2 コロニーの数や細胞密度等を 自動でカウント・測定・通知

コロニーの数や細胞密度等を自動カウント・自動測定でき、細胞
が理想的な状態に達したとき、あるいは、設定した状態に達しな
いときに PC・タブレットへ自動で通知を配信する機能を搭載予定。

4 モバイル端末による簡単操作 リモートでの経過確認も可能

お持ちの PC・スマートフォン・タブレットから誰でも簡単に操作
でき、自動／手動の運転切り替えも可能。また、IoT を駆使して、
現在の培養細胞の発育状況をリアルタイムに画面に表示可能に。

